みなさんからの支援が“貧困をなくす未来”の支えになります。

自治労の「国際連帯救援カンパ」は 1991 年に始まり、難民支援や児童労働禁止のキャンペーン、途上国の子どもの生活と教育の支援などに活用してきました。また、1994 年に自治労結成 40 周年記念・国際連帯事業として建設された「アジア子どもの家」プロジェクトは、特定非営利活動法人エファジャパンがその取組み、理念を継承し、現在に至るまでインドシナ半島における困難を抱える子供たちに対する支援を継続しています。すべての子どもたちが飢えることなく、等しくあたり前に教育や医療を受け、自分で生き方を選択できる社会でなければなりません。SDGs（持続可能な開発目標）「誰ひとり取り残さない世界」をめざして、自治労はこれからも、労働者・市民とともに国際連帯活動に取り組んでいきます。組合員の皆さんの心のこもったカンパをお願いいたします。

ワンコイン
500円で買えるもの

- ポリオから子どもを守るワクチン20回分
- 子ども用の鉛筆10本とノート10冊
- 10リットルの水を運搬・貯蔵できる貯水容器2個

（出典：UNICEF）

2026年度は、こんな活動をします。

- ●戦争や紛争被災者・難民への支援
- ●労働組合弾圧に対する闘争支援
- ●海外の自然災害への緊急支援
- ●連合「愛のカンパ」への拠出
- ●地連・県本部の国際協力事業への支援
- ●海外の労働組合組織化支援
- ●平和・人権・環境などの課題に取り組むNGOなどへの連帯・支援
- ●エファジャパンの活動支援
- ●飢餓、疫病などへの緊急支援
- ●人身売買（トラフィッキング）防止と被害者支援

ご協力ありがとうございました。

2025年度に寄せられた国際連帯救援カンパは
34,856,489円 となりました。

◎2025年度国際連帯救援カンパの主な使途

・連合「愛のカンパ」	1,000 万円
・エファジャパンの活動支援	1,000 万円
・フィリピン移住労働者支援	150 万円
・アムネスティ・インターナショナルへの支援	150 万円
・JVCのスーダンでの紛争被災民の教育機会・児童保護	50 万円
・ミャンマーの民主化支援	400 万円
・広報・事務費	1,066,890 円

＊詳細は HP でもご覧いただけます。
https://www.jichiro.gr.jp　連帯カンパ

お問い合わせは：総合企画総務局国際担当
TEL : 03-3263-0264 E-mail : kokusai@jichiro.gr.jp

分断を超えて、希望ある未来を

「国際連帯救援カンパ」にご協力ください

自治労の「国際連帯救援カンパ」は1991年に始まり、難民支援や児童労働禁止のキャンペーン、途上国の子どもの生活と教育の支援などに活用してきました。みなさんからの支援が**貧困をなくす未来**の支えになります。

2026年度

JICHIRO
ALL-JAPAN PREFECTURAL AND MUNICIPAL WORKERS UNION

分断を超えて、希望ある未来を

今、世界では経済のグローバル化による格差の拡大、感染症、気候変動など様々な要因により不満や対立が深まり、分断が進んでいます。民族、宗教、貧富の差による争いや排除が深刻な人権侵害を引き起こし、社会の連帯が揺らいでいます。

そして、その影響を最も深刻に受けるのは、未来を担う子どもたちです。教育の機会が奪われ、基本的な生活さえままならない状況に追い込まれる子どもが増えています。

今こそ、国境を越えた「国際連帯」「国際協力」がこれまで以上に求められています。人々が支え合い、共に生きる社会を築くために、私たち一人ひとりの行動が必要です。

「国際連帯カンパ」は、分断に抗い、希望ある未来を切り開くための取り組みを支える大切な力となります。どうか皆さまの温かいご支援をお寄せください。あなたのカンパが、世界の仲間と子どもたちの命と尊厳を守る力になります。

ミャンマー
Myanmar

2021年のクーデターから4年以上が経過したミャンマーでは、軍による市民への弾圧が続き、5,000人以上が殺害されています。空爆や砲撃で民間人の被害が拡大し、370万人以上が国内外に避難しています。また、2024年末には大規模な地震が発生し、多くの地域で家屋が倒壊、インフラが寸断され、人道危機がさらに深刻化しました。軍事政権は2021年2月のクーデター以降継続していた非常事態宣言を解除しましたが、民主派を締め出して総選挙の実施を企図するなど、依然民主化の道筋は不透明です。
自治労が支援する難民や移民に対して無償診療を行っている団体や、移民の子どもたちへの教育を提供している団体への支援も逼迫しており、継続的な支援が強く求められています。

ガザ
Gaza

2023年10月、ハマスによるイスラエル攻撃を発端に始まったイスラエルとパレスチナの武力衝突は今なお続き、多くの市民が犠牲となっています。
2024年5月にはイスラエル軍がガザ南部ラファ地区に侵攻し、避難していた100万人以上が再び避難を強いられました。2025年に入り双方で停戦合意がなされたものの、イスラエルが大規模な攻撃を再開する等、ガザ地区全域で深刻な飢餓の危機に瀕しています。
自治労は、現地で支援活動を行う団体への寄付を通じて人々の命をつなぐ支援を行っています。

写真提供：©パルシック、©メータオクリニック支援の会(JAM)、©日本国際ボランティアセンター（JVC）